



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 ホリイフードサービス株式会社

代表者名 代表取締役社長 飯田 益弘

(コード番号 3077)

問合せ先 取締役経営管理本部長 大貫 春樹

電 話 (029) 233-5825

### 特別損失の計上及び平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成30年 3 月期において計上しました特別損失の概要をお知らせすると共に、平成29年11月 1 日に公表いたしました通期業績予想と実績との差異を下記によりお知らせします。

#### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその内容

##### (1) 固定資産除却損

当事業年度において当社が保有する固定資産の一部について、設備の改修及び老朽化による固定資産の買換えに伴い、「固定資産除却損」2,290 千円を特別損失に計上いたしました。

##### (2) 減損損失

当事業年度において営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである店舗（みんなの和食村大田原店他 33 店舗）について帳簿価額を回収可能価額まで減額した当該減少額（468,180 千円）、当事業年において新たに閉鎖が確定した店舗（忍家北茨城店他 5 店舗）の帳簿価額の全額（58,942 千円）の合計 527,123 千円を「減損損失」として特別損失に計上いたしました。

##### (3) 店舗閉鎖損失引当金繰入額

当事業年度において閉鎖を決定した店舗（忍家北茨城店他 7 店舗）に対し、閉鎖に伴い発生が見込まれる損失額 29,424 千円を「店舗閉鎖損失引当金繰入額」として特別損失に計上いたしました。

##### (4) その他

当事業年度において閉鎖した店舗（忍家大宮宮町店他 13 店舗）に対し、閉鎖に伴い発生した損失額 30,145 千円を「その他」として特別損失に計上いたしました。

## 2. 平成30年3月期通期業績予想と実績との差異について

平成30年3月期通期業績予想と実績の差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,650	140	46	△314	△55円39銭
実績 (B)	6,815	188	93	△408	△72円03銭
増減額 (B-A)	164	48	47	△94	—
増減率 (%)	2.5	34.5	101.4	—	—
(ご参考)前事業年度	7,292	61	44	△502	△88円69銭

（業績予想と実績の差異の理由）

売上高は、広告宣伝の強化及び業態変更等により計画を上回り推移いたしました。また、店舗の営業力及び運営力の強化を目的とした支出は増加しましたが、不採算店舗の閉鎖による販売費及び一般管理費の減少により、営業利益及び経常利益は計画を上回る着地となりました。

しかしながら、上記「1」の特別損失の計上により当期純利益は計画を下回る着地となりました。

以上